

(1)

県下の交通事故 (3月28日現在)

| 区分 | 発生件数 | 死者 | 傷者 |
|------|--------|--------|--------|
| 年別 | | | |
| 平成4年 | 1,008件 | 27人 | 1,355人 |
| 平成5年 | 1,077件 | 15人 | 1,422人 |
| 比較 | +6.9% | -44.4% | +4.9% |



◇ 第99号 ◇
 発行所
 〒400 甲府市丸の内一丁目9-11
 県民会館2階
 財団法人 山梨県交通安全協会
 TEL 甲府 (0552) 32-4682
 (0552) 37-7827



高さ23メートルの橋上からダイビング…若者4名死亡

春の全国交通安全運動

4月6日～4月15日

乗車！必ずシートベルトを

全国的に交通安全運動が実施されて既に四十五年、約半世紀が過ぎようとしていきます。今年も春の全国交通安全運動が四月六日から十五日までの十日間実施されます。昨年の県内の交通事故は、前年に比べて死者は僅かながら減少したものの件数、死者は増加し、死者については一五三人と人口十万人当たりの死者率は全国ワースト一位、昭和四十九年以降では最悪の記録となりました。本年に入っても、事故件数は増えていますが、死亡事故については年明けとともに様相が一変し、三月二十五日現在、死者十四人と昨年同期と比べ十二人、四六・二%減で人口十万人当たりの死者率は一挙にベスト七位という状況で、この傾向を是非継続したいものです。この時期は新入学(園)の時期でもありますので、この事故防止も重点に交通安全思想の普及と交通事故の増勢に歯止めをかけるため、県民総ぐるみで、安全運動を展開することにしています。

◎運動の重点

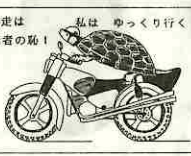
一、シートベルトの着用の徹底



シートベルトは命のお守り

愛媛 渡部江美子 作

二、若者による無謀運転の追放



危険な運転(スピードの出過ぎ)

福島 今野金哉 作

三、子供と高齢者の交通事故防止



おばあちゃん気をつけて

広島 吉川愛美 作

四、違法駐車車の締め出し



駐車禁止より宇宙人だって許さない

愛知 田内正宏 作

◎運動の目標

この運動は、県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図るとともに、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図る事が重要となっています。

かわいい子どもを事故から守ろう

新入学児童全員に黄色腕章等を贈る

山梨県交通安全協会では、山梨県警察と協力して、新入学児童全員に黄色腕章七五〇本を贈ることになりました。なお、甲府市内の新入学児童には富士銀行甲府支店、富士吉田市内の



新入学児童には安田火災海上保険(株)からそれぞれ贈られています。なおお母さん方には、別項のようなお願い文も託しました。

ご入学 おめでとう ございます

おたくのかわいいお子さんが、いよいよ小学校へ入学されることになりました。まことにおめでとうでございます。ご承知のように、交通事故は年々おびただしい数に達し、昨年もまた、いたまじい多くの犠牲者を出してまいりました。その中には、いたいけな子どもの事故も少なくありません。つきましては、おたくのお子さんが、絶対に交通事故にあいませぬようにと祈りをこめて、この交通安全腕章をお贈りいたします。どうぞ、学校の往復には必ず、この腕章をつけて注意心をよびおこしてください。そして、毎日、具体的に交通安全のしつけを繰り返して、子どもの行動習慣が、はげしい交通環境に調和できまますように、特に、お母さま方のご努力をお願いいたします。平成5年3月

おしゃべりに ちゅうて見えない、赤しんこう

山梨県警察本部・財団法人山梨県交通安全協会

交差点

▼今朝(三月十九日)のニュースでまたまた中央道の交通死亡事故が報じられていました。

「車から降り出されたところへ、後からトラックが走って来て、これにはねられて死」云々と。▼聞き耳を立てていた筆者の頭の中に、とっさに「シートベルト」の六文字が点滅しました。ニュースでは何も言いませんでした。▼出勤して早速、高速隊の大型分駐隊長さんに伺いました。やはりシートベルトは着けていなかったようです。車から降り出されたときは、まだ生命には別条なかつたらしく、隊長さん曰く「ベルトを締めれば、車の中に居れたらどうに」と残念がっていました。▼県警の調査によると、去年の交通事故死者五百五十三人のうち、シートベルト着用義務者は八十一人、このうち着用していたのは十三人(着用率16%)、非着用者六十八人中、着用していれば助かったと思われる人三十四人(救命率50%)という結果が示されています。▼自動車乗車中の事故死は、衝突の際の衝撃自体によるものではなく、その後の二次衝突によって、ひき起こされるものがほとんどです。

第一は自己抑制力です。人間は他の動物と異なり、自分の衝動を抑える自己抑制力つまり自制心があり、人間だけに発達した大脳の、新皮質のなせるわざです。安全運転をしようとする「心」が大切です。第二は共感性。一口にいえば、相手の心を察し、相手の身になって考え、行動することです。運転行動は社会的行動であり自分勝手は許されません。自己中心性は自己抑制したところに共感性が現れてくるのです。第三は力強い意志と実践力です。「自分を愛する」とも他人を愛する。自分の命を大切にすることも他人の命を大切にすることも、という行動目標を確立して、それを実践することができよう豊かな人間性を養うことです。



運転者に心の教育を

県警運転免許課長

鈴木 努

たならば、根源的な交通安全対策は運転者(教育)の充実等運転者の資質の向上をはかることに、ひとりひとりの運転者の交通安全に対する意識を高め、資格と責任ある行動を促していくための施策を積極的かつ強力に推進していく必要があると思います。運転者の交通安全意識の

高揚をはかる現行制度としては、運転免許を取得する際の初心運転者教育、運転免許更新の時の更新時講習、交通安全の違反等による免許停止処分の際に行う処分者講習、原付講習、免許取得後一年以内に通行違反等により一定の基準点数に達した者が受講する初心運転者講習期間制度の講習等が

七人に一人が運転免許を保持し、また、車両台数も平成四年末には、台数も増加傾向にあり、また、昨年中の交通事故による死者数は一五三名で、昭和四十九年以降最悪の記録です。これらの事故を詳細に分析してみますと、若者による無謀運転による事故が目

つまり認知↓処理↓判断↓決心↓動作↓その結果のフィードバックの過程のどこかに欠陥があるように見えても、要因をさらにつきつめていくと必ずドライバーの意識に問題点があるのです。そこで安全運転に徹し理想的なドライバーに要求されることは次の三つの事が考えられます。

事故防止の誓い新たに

第33回交通安全国民運動中央大会

恒例の「第33回交通安全国民運動中央大会」が去る一月十三日、十四日の両日東京・日比谷公会堂等で開催されました。

大会は、全日本交通安全協会と都道府県交通安全協会の主催、総務庁、文部省



運輸省等六省庁二団体の後援を得て、警察庁の委託事業として実施しているもので、昭和三十六年に第一回大会が開催されて以来、今年で三十三回目を迎えました。

〔文科集會〕

一月十三日の第一日目は、全国各地で交通事故防止活動を推進している約五百人が出席し、地域、企業、婦人、子どもの四部会に分かれて分科集會を開きそれぞれ立場から平成五年中に実施する交通安全についての基本的な実行方針について協議しました。

〔本會議〕

一月十四日の第二日目は、日比谷公会堂に常陸宮・同妃両殿下をお迎えし、内閣総理大臣（代理官房長官）衆・参両院議長、来賓をはじめ受賞者、前日の分科集會出席者等約二千人が出席して中央大会本會議が開催されました。

本會議は、川上裕之元NHKアナウンサーの司会で始まり、国家斉唱、交通安全犠牲者に対する黙祷のあと平岩会長からあいさつがあり、前日の分科集會で討

交通事故は、依然増勢を示し、死者数は年間一万人を超える状態が続いている。

ここに、第三十三回交通安全国民運動中央大会を開催するに当たり、生命の尊厳と事態の重大性を改めて強く認識し、安全で秩序正しい交通社会を確立するため、関係機関、団体をはじめ、交通に参加するすべての人々と協力し、全国の職場、学校、家庭、地域において、次の諸対策を強力に推進することを誓う。

- 一、歩行者、自転車、とくに高齢者と子どもの交通事故防止
- 二、シートベルト、ヘルメットの正しい着用、普及教育
- 三、運転者、とくに若年運転者に対する交通安全教育
- 四、違法駐車の一掃

平成五年一月十四日
第三十三回交通安全国民運動中央大会

この度、関係各位のご高配により、図らずも栄えある交通安全賞章、緑十字章を受賞しました。

思えば、昭和三十年六月

緑十字章を受章して

甲府交通安全協会会長 秋山 登

この度、関係各位のご高配により、図らずも栄えある交通安全賞章、緑十字章を受章しました。

思えば、昭和三十年六月

- 次いで常陸宮殿下のお言葉（別掲）のあと、内閣総理大臣代理河野洋平内閣官房長官、桜内義雄衆議院議長、原文兵衛参院議長、村田敬次郎国務大臣、国家公安委員長から祝辞があり、受賞者代表あいさつで大会の幕を閉じました。
- 本県関係の受賞者は次のとおりです。
- 【緑十字章】
 - 交通安全功労者 市川安協 八木 吉治
 - 交通安全功労者 赤池 一司
 - 優良運転者 富士急行株式会社
 - 【緑十字章】
 - 交通安全功労者 秋山 登
 - 交通安全功労者 岩間 要治
 - 優良運転者 近藤 敏男
 - 富士タクシー株式会社
 - 【全日交会長表彰】
 - 交通安全優良団体 山梨県たばこ商業協同組合連合会
 - 交通安全優秀事務所 株式会社 オスカ
 - 交通安全優良学校 敷島町立敷島南小学校
 - 優良交通安全協会 石和交通安全協会
 - 優良安全運転管理者協議会 大月安全運転管理者協議会

当時の山梨県交通安全協会甲府支部役員に名を連ねて以来、交通事故の追放を悲願に、志を同じくする皆さんと共に手を携えながらさまざまな努力を積み重ねてきたことが、かくも過分に評価され恐縮の極みでもあります。

現下の交通情勢は、ご承知の通り車両台数や運転免許人口の増加を基調に、国民生活の多様化、レジャー交通の増大、高齢人口の増加等の諸要因も相俟って依然多発傾向で推移し、特に交通安全に転じて、前途多難な増勢に転じ、前途多難な若者を始め、幾多の尊い命が犠牲の犠牲になつてい

映画紹介

一、前触れない悲劇 運転者向16ミリ、カラー、30分

交通事故は、減少するどころか、ますます増えつつあり、この日常の生活の中で起こり得る最も悲惨な出来事の一つといえます。

この映画は、ちょっとした油断、一瞬の過失から、一生涯重い十字架を背負って生きるあるドライバーの悲痛な叫びを柱としてドラマ化したものです。

二、ひとときの幸せ 断つてぬ交通悲劇 運転者向16ミリ、カラー、30分

ドライバーの安全運転に対する意識の甘さが原因といえる事故が後を断ちません。疲労時の無理な運転、集中力を欠いた不注意運転、ルール無視の無謀運転等、運転技術以前の問題としてドライバーが常に厳しく守らなければならぬことなのです。

毎日のように失われる多くの若者たちの生命を守るためにドライバーの一人ひとりとが、シートベルトの着用とともに、ハンドルの重みを厳しく自覚しなければなりません。この映画は、最近実際におこった交通事故の悲劇をヒントに安全運転に対するドライバーの意識の向上に役立つことを願って製作されました。

三、鉄腕アトム 交通安全 16ミリ、カラー、15分 子ども向

時代をこえた、永遠のヒーロー、鉄腕アトム、子供の交通事故で一番多いのが、とび出し事故です。低年齢層になる程、その傾向にあります。この映画では、鉄腕アトムが交通安全の基本を繰り返し教えます。「10万馬力の安全ポイント」が優しく分かりやすく身につきますよ。

交通事故は、国を挙げての努力にもかかわらず、数年前から再び増加傾向が続き、その死者は四年連続して一万一千人を越えました。

この時に当たり、第三十三回交通安全国民運動中央大会が開催され、全国各地で安全運動に尽力されておられる皆さんが一堂に集まり、豊富な知識と経験を交流して、効果的な方策を協議されたいことをここに意義深いことと思ひます。

ことに本日、受賞された方々をはじめ、関係者の地道な努力に対し、深く謝意を表します。

交通事故は、何の予告もなく発生し、一瞬のうち

常陸宮殿下お言葉

に家庭の幸福を奪い、職場に大きな損害をもたらす悲惨なものであり、とくに最近若者の暴走事故が目立ち、高齢者の被害が増加していることは、大変残念に思ひます。事故にあわれた方々はまことに心お気の毒であり、心から同情します。

ここに、改めてひとりひとりが生命の尊厳を心に刻み、運転者も歩行者も、お年寄りから子どもまで互いにおもひやり、助け合う気持ちを強く、協力して、幅広い交通安全運動を一層積極的に推進されることを望んでやみません。

交通安全賞章に輝く人びと

- ▽金章 八木吉治氏 八木さんは、昭和二十八年から三十九年の長い間、地域の交通安全活動の推進と住民の交通安全意識の高揚に尽力し、また、市川安協の会長として会の育成に努める等、交通安全の推進に寄与した功績が認められ、県下で交通安全功労者として十六人目の金章を受けられました。また広美夫人にも内助の功により平岩全日
- ▽金章 赤池一司氏 赤池さんは、昭和二十八年から富士急行株式会社との乗合バスの運転に従事し、約三十年の間無事故、無違反の安全運転を続け、他の運転者の模範として、安全に寄与した功績が認められ、県下で交通安全功労者として十五人目の金章を受けられました。また美
- ▽銀章 秋山登氏 代子夫人にも、その内助の功に対し平岩全日交会長から感謝状が贈られました。
- ▽銀章 秋山登氏 秋山さんは、昭和三十年以来三十八年の長い間、県都甲府の交通安全確保のため、各種交通安全活動に率先努力し、また甲府安協の会長として会の育成発展に努める等、交通安全の推進に寄与した功績が認められ、交通安全功労者として銀章を受けられました。また洋子夫人にも、その内助の功に対し、平岩全日交会長から感謝状が贈られました。
- ▽銀章 岩間 要治氏 岩間さんは、昭和三十年以来三十八年の長い間、甲府安協の役員として、県都



八木 吉治氏 赤池 一司氏



秋山 登氏 瀧森 巖氏



岩間 要治氏 近藤 敏男氏



大久保光雄氏



交通安全

山梨 河野 修 作

死者11年連続100人超える

— 若者と高齢者で過半数 —

平成四年中の県内交通事故

県内の交通事故は、発生五千九百三十三件（前年対比四十二件、〇・八%増）死者百五十三人（前年対比二

十三人、一七・七%増）傷者六千八百七十二人（前年対比六十五人、〇・九%減）で交通死亡事故は、昭和五



濡れた路面でデングリ返り—スピードオーバー

十七年以降十一年連続して百人を突破し、これは昭和四十九年以降最悪の記録となりました。人口十万人当たりの死者は、一七・九人であるが平均の九・二人をはるかに越え、これは全国ワースト一位という残念な結果になっています。

若者と高齢者で、八十四人全死者の五五%を占めている。最高速度違反・酒酔い・信号無視等無謀運転による事故が相変わらず多く、六十五件（構成率四七%）一日の時間帯では、深夜

平成五年度交通安全運動基本要綱

山梨県の平成五年度における交通安全運動の計画的かつ効果的な推進を図るため、県交通安全対策本部と県交通安全推進協議会は、次のとおり「平成五年度交通安全運動基本要綱」を定め、効果的な運動を実施することになりました。主な内容は次のとおりです。

| 運動の名称 | 実施期間 |
|-----------------|------------------|
| 春の全国交通安全運動 | 4/6(火)～4/15(木) |
| 春の連休時における交通安全対策 | 4/29(木)～5/5(木) |
| 夏の交通安全防止県民運動 | 7/21(水)～8/31(火) |
| 秋の全国交通安全運動 | 9/21(火)～9/30(水) |
| 年末年始の交通安全防止県民運動 | 12/10(金)～1/10(月) |
| シートベルト着用徹底県民運動 | 4/6(木)～3/31(木) |
| 交通安全一市町村一運動 | 4/6(木)～3/31(木) |
| 運動の名称と実施期間 | 32日間 |
| | 10日間 |
| | 42日間 |
| | 7日間 |
| | 10日間 |

家庭や学校、職場において、交通安全について考え、話し合った内容や方法、その結果実行していることについての「我が家の交通安全」一文を、総務庁、全日本交通安全協会等の共催で募集していただき、全国から一万七千九百七十九点もの作品が寄せられました。審査の結果、小学校中学年の部に応募した、秋山村浜沢小学校四年・杉本飛鳥さんの作文が、見事優秀賞に選ばれ、総務庁長官官房交通安全対策室長賞を受けました。

「一日の始まりは朝、きのうのいやな事があっても朝がくると、さあ今日もがんばるか。と言う気持ちにだれだっているね。その朝に、ぶつぶついやな事を言ったり、暗い顔をしたりしていたらいい気持ちはしないでしょう。車の運転をしながら

「我が家の交通安全」優秀賞

おばあちゃんからのあひるもの

浜沢小四年 杉本 飛鳥

「行ってらっしゃい、お気をつけて。」
わが家の一日は、この言葉から始まります。いつからとなく、もうもの覚悟ついたころには毎朝家の庭に出て、お母さんといっしょにお父さんのお出かけを見送っていました。その時は全く言わなく言い続けて来た言葉なのに、私が小学生になったある日、お母さんは私に言った。
「家族三人こんなに仲良くくらすのも家族がみんな元気だからなんだよ。それ、お父さんが飛鳥のためにあせを流して、いっしょうけんめい働いていてくれ

ているの。だからお父さんが気持ちよくお出かけできるように毎日がんばらうね」
私はその時、とてもはにかしかった。なにげなく言っていた言葉にこんな深い訳があったとは……その日かから、今まで言っていた言葉に気持ちよくなって見送ることができるようになった。お母さんは、こんな事も

結こんする時、お母さん（私のおばあちゃん）からプレゼントされたものだった。おばあさんは、おじいさんが車の運転はしないけれど、仕事に出かけるのを



いまでもこの言葉で送っている。私もこの気持ちをいつまでも大切にしていこうと思う。交通安全は、一人一人の心がけから始まるのだ。
先日、地区のけいさつから交通安全についてのお知らせがあった。わが家でも

ゆとりをもって、明るい気持ちで出かけよう」です。お父さんは、よそ見をしないこと。お母さんは、スピードの出しすぎに注意することと、左せつする時、バイクに気をつけること。私は、村の小学校に通っているの



熊本 佐々木兼房作

今日も安全運転で出かけよう



新交通巡視員章

路の横断は見通しのよい所ですること、時間によゆうをもって行動することになり、さそく一人一人実行にうつしてきます。夕方は、「おかえりなさいませ」とお父さんを迎え、夕はんや、おふろの時に今日のようすについて話し、一日が終わります。交通安全は、一人一人の心がけ。

- ★全車種（大型・普通・自二・けん引・大特・第二種免許）の免許の取得ができます。
- ★早朝・夕方・日曜その他あなたの生活条件に合わせた教習が受けられます。
- ★ご希望により送迎もいたします。

財団法人 山梨県交通安全協会経営

公認 山梨自動車学校

中巨摩郡八田村野牛島1828
TEL (0552) 85-0752

あなたの自転車に TSMマークをはりましょう。

- TSMマークは基準に適合する普通自転車のしるしです。
- 歩道を通行できるのは普通自転車だけです。
- TSMマークは自転車安全整備店で貼ります。
- TSMマークには保険(傷害・賠償責任)がついています。



自転車安全整備店のしるし

自転車に乗るときの注意

- 乗る前には必ず点検しましょう。
- ブレーキが故障している自転車に乗ると違反になります。
- 夜間は、反射器や尾灯のない自転車に乗ってはいけません。
- 自転車には、警音器や前照灯を取付けましょう。
- ゆるみやガタのある自転車、タイヤや空気圧の不良の自転車に乗るのは危険です。
- 交通ルールは必ず守りましょう。





死者3桁にストップを願いと誓いをこめて



服も帽子も揃いましたさあ街頭へ

交通安全を祈願 (県安協)

県交通安全協会は、一月八日、武田神社で、本年の交通安全を祈願しました。県警の服部雄雄本部長、県安協の中村太郎会長をはじめ、県警交通部幹部、県安協役員、交機・高速隊員らが参加し、服部本部長と中村会長が玉ぐしを捧げて交通安全を祈願し、交通事故絶滅の決意を新たにしました。

駐車場の区画線を整備

(山梨自動車学校、安全運転学校)



整然と迷惑にならない駐車を

地区だより

婦人部に制帽 (諏沢)

各地区安協婦人部の安全活動が年を逐って活発化しています。女性特有の優しさ、気くばりが一段と

交通安全標語コンクール (諏沢)

中巨摩郡八田村野牛島所の山梨自動車学校及び県安全運転学校では、自動車教習、運転免許更新等のため訪れる人達が利用する駐車場について、より安全かつ円滑に駐車してもらうため、駐車位置を明示する区画線を整備しました。

非崎安協婦人部(部長 向山しげ子)では、昨秋の全国交通安全運動の期間中、運動の一貫として「交通安全標語コンクール」を実施しました。婦人部員から一五〇点の応募があり、優秀作品を選定し、標語手書きのマスケット人形を作り街頭指導所で配布する等各種安全活動に活用し事故防止を呼びかけ、ドライバーから好評を得ています。入選作品

最優秀 送り出す朝の一言交通安全
優秀 歩行者にそっと目をやる思いやり
佳作 気をつけて やさしい 笑顔の 妻の声 妻や子の 笑顔にこたえる 安全運転 雨の日は 事故が待っている 要注意

事務局から お知らせ!!

- 1 腕自慢ライダー集合! 第23回二輪車安全運転山梨県大会開催要綱
- 2 二輪車の安全運転技術と交通徳の向上を図って交通事故を防止する。
- 3 主催 財団法人山梨県交通安全協会二輪車安全運転推進委員会
- 4 後援 山梨県交通対策推進協議会

- 1 趣旨
- 2 二輪車の安全運転技術と交通徳の向上を図って交通事故を防止する。
- 3 主催 財団法人山梨県交通安全協会二輪車安全運転推進委員会
- 4 後援 山梨県交通対策推進協議会
- 5 山梨県自動車協会
- 6 指導 山梨県警察本部交通部
- 7 協賛 山梨県二輪車安全普及協会
- 8 日時 平成五年六月二十日(日) 午前九時三十分(雨天決行)
- 9 場所 中巨摩郡八田村野牛島山梨県運転免許センター
- 10 クラス別及び使用車両 女性クラス 一二五ccまで(原付でもよい)
- 11 高校生クラス 一二五ccまで(原付でもよい)
- 12 一般Aクラス 四〇〇ccまで(原付を除く)
- 13 一般Bクラス 四〇〇cc

運転免許課からのお知らせ

「日曜日」は、更新者が多く混雑します!

八田村の山梨県安全運転学校では、日曜日にも運転免許証の更新を行っています。日曜日には、毎回更新のために来校される方が多く、大変な混雑で、手続のための待ち時間も長くなっています。ちなみに、今年の一月二月中の更新者の来校状況は、日曜日には八回ありましたが、一回あたりの人員は六一八人、平日(月・金)は三七回で、一回あたり二一人

ちよつとご参考までに 全国交通情勢 十年前と現在

- 一、道路交通の量的拡大
 - 自動車保有台数(平成四年十月末現在) 七、八三三万台(一・四倍)
 - 原付自転車(二二五cc以下)保有台数(平成四年四月一日現在) 一四〇〇万台(一・〇五倍)
 - 小型特殊自動車台数(平成四年四月一日現在) 二二八万台
 - 自動車保有台数(平成三年十二月末現在) 七、一一二万台(一・三三倍)
 - 65歳以上の運転免許保有者数(平成三年十二月末現在) 三三六万人(二・六六倍)
- 二、車両及び運転者の多様化
 - 自動車(二輪車を除く)保有台数(平成四年十月末現在) 一、四三三万台(一・四二倍)
 - 自動二輪車(二二五ccを超えるもの)保有台数(平成四年十月末現在) 二、四六八万人(一・六五倍)
 - 人口の高齢化(平成四年十月一日現在) 65歳以上の運転免許保有者数(平成三年十二月末現在) 三三六万人(二・六六倍)
 - 女性の運転免許保有者数(平成四年十二月末現在) 二、四六八万人(一・六五倍)
- 三、人口の高齢化(平成四年十月一日現在) 65歳以上人口が全人口に占める割合
- 四、国内新車販売台数(軽自動車を除く、平成四年) 五三三万台 前年比 七・二%減
- 五、シートベルト着用率(一般道路、運転者、平成四年十一月調べ) 五九・六%(前年五五・五%)

もし交通事故にあったら 無料相談

- 1. 事故にあったらまずどうするか?
- 2. だれに相談するか?
- 3. 賠償請求—だれに、だれが?
- 4. どんな損害を請求できるか?
- 5. 賠償問題の解決のしかた等

相談日: 月曜~金曜 午前9時半~午後4時40分
○専門の相談員が親身になってご相談に応じます。
○弁護士相談日: 毎月第3木曜日 午後1時~午後4時



社団法人 日本損害保険協会
甲府自動車保険請求相談センター
甲府市丸の内3-1-6 住友生命山梨ビル3階

★電話のご相談もお受けします。 ☎ 0552-28-8335



自動車や原付自転車には必ず自賠責保険と任意の自動車保険をつけましょう。
損害保険代理店
株式会社 たいよう共済山梨支店
甲府市丸の内2丁目32-13 日東ビル4階
TEL 0552-28-0691